

令和 7 年度

第 3 回 留萌市子ども・子育て会議議事録

開催日時：令和 8 年 3 月 5 日（木） 午後 6 時 3 0 分

開催場所：留萌市役所 3・4 号会議室

留萌市子ども・子育て会議

令和7年度第3回留萌市子ども・子育て会議議事録

開催日時 令和8年3月5日（木）午後6時30分

開催場所 留萌市役所 3・4号会議室

出席委員

子ども・子育て会議委員（順不同）

中路 和也	塚田 崇	堀口 千晶	峨家 麻美子
福士 恵里子	竹内 美和	和泉 美輪	鳴海 智恵
長尾 保廣			
以上9名			

留萌市教育委員会事務局

教 育 部 長	吉田 博幸
子育て支援課長	中村 美幸
〃 子育て支援係長	加藤 尚規
〃 子ども家庭支援担当主査	佐伯 理恵
〃 子育て支援センター主査	松浦 恵子

説明者

株式会社ぎょうせい主任研究員	長澤 洋
株式会社ぎょうせい研究員	鎌田 葵依

（会議次第）

1 議 事

（1）第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更について

2 報告事項

（1）令和8年度認定こども園等申し込み状況

（2）ヤングケアラー実態調査結果について

（3）こども計画策定に向けたアンケート調査結果について

4 その他（意見交換）

議事の概要 別紙のとおり

(別紙)

令和7年度第1回留萌市子ども・子育て会議 議事日程

日程	議事名	結果
議事1	第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更について	可決

令和7年度第3回留萌市子ども・子育て会議 議事の概要

議事について事務局より説明を行い、議事の可否を確認したところ、出席者9名全員の了承を得たことにより、留萌市子ども・子育て会議条例第6条第3項の規定により、可決する。

令和7年度第3回 留萌市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

○開催日時

令和8年3月5日(木) 18時30分～19時45分

○開催場所

留萌市役所 3・4号会議室

○出席委員

中路委員(会長)／塚田委員(副会長)／堀口委員／峨家委員／福士委員／竹内委員／
和泉委員／鳴海委員／長尾委員(会長・副会長以外は名簿順)

○議事

(1) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更について

○報告事項

- (1) 令和8年度認定こども園等利用申し込み状況【令和8年3月5日現在】
- (2) ヤングケアラー実態調査結果について
- (3) こども計画策定に向けたアンケート調査結果について

○配布資料

- 資料1① 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更
- 資料1② 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画
- 資料2 令和8年度認定こども園等申込状況
- 資料3 小学生・中学生・高校生の生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー実態調査)調査結果
- 資料4 留萌市子どもの生活アンケート(小学5年生・中学2年生・保護者)・若者アンケート(高校生世代～34歳)結果報告書
- 資料5 留萌市 小学生の生活実態に関するアンケート調査 結果報告書 概要版
- 資料6 留萌市 中学生の生活実態に関するアンケート調査 結果報告書 概要版
- 資料7 留萌市 高校生の生活実態に関するアンケート調査 結果報告書 概要版

○内容(要旨)

<事務局>会議の進行は会長が行うこととなっている。

<会長挨拶>本日は議事が1件、報告事項が3件ある。皆様方の前向きな意見をいただきながら議事進行に務めてまいりたい。

<会議成立の確認>出席委員が16名中8名であり、子ども・子育て会議条例第6条に定める会議の成立条件である委員の半数以上の出席となっているため会議成立。

<会議中に出席 9 名となる>

<議事録署名委員の任命>要綱に定める通り会長が指名することになっている。指名により鳴海委員、福士委員の両名をお願いした。

<以降、会長により進行>

<議事>

(1) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更について
→資料1①②を元に事務局より説明

【質疑】

質問意見等なし

(会 長) 実態に即した変更を随時行っていくとのこと。今後も変更あればこのような形で報告されるところである。

<報告事案>

(1) 令和8年度認定こども園等利用申し込み状況【令和8年3月5日現在】
→資料2を元に事務局より報告

【質疑】

質問意見等なし

(2) ヤングケアラー実態調査結果について
→資料3を元に事務局より報告

【質疑】

(長尾委員) 小学生だと「ヤングケアラー」という言葉は難しいのではないかと。約10%は未回答なのでそこにヤングケアラーが隠れていないか。今はいないようにみえてもいつどうなるかわからないため、継続した調査が必要だと感じた。

(会 長) 小学生の「ヤングケアラー」という言葉の認知は今後の課題になると考える。また、どの世代にも何人かはヤングケアラーの可能性のある人がいるということか。

(事務局) 「家族のお世話をしている」と回答した人はどの世代にも何パーセントかはいた。

(3) こども計画策定に向けたアンケート調査結果について
→資料4を元に事務局（ぎょうせい）より報告

【質疑】

(会 長) 子どもの回答率に比べて保護者の回答率が非常に少ないのは、他の自治体でも同じような傾向か。

(事務局) アンケートの実施方法で左右されるところがある。今回、子どもには学校

で回答してもらったためほぼ全員が回答し、回答率が非常に高い。一方で保護者には子どもが案内状を持ち帰り、家で回答してもらった。保護者の回答が少ないため、子どもとのマッチングができた票数は減った。しかし、57%という回収率の数字は調査単位として見れば低いわけではない。実施方法や時期等の状況によって変わるので他の自治体と比べて高いか低いかわからないという議論にはなりにくい。今回の保護者に向けた実施方法（案内状配付・後日回答）がよくある手法であり、子どもたちに学校内で回答してもらったのは思い切った判断で回収に有効だったと思う。

（鳴海委員）若者に向けてのアンケートは、市が郵送しているのか。

（事務局）おっしゃる通り。若者（高校生世代～34歳）の中から1000人をランダムで抽出し、郵送とwebで回答を促した。しかし回答は任意であるため思うようには回答してもらえなかった。

（会長）説明のあったものは留萌あるいは全国的に印象に残る部分だったと考えて良いか。

（事務局）留萌だから、ということばかりではない。今回の調査に限っては国の調査等で貧困層・生活困窮層などとされるA層の割合や状況が深刻な状態ではないことがうかがえた。A層にあたる状況が深刻な自治体もある。敢えて他の自治体でよくみられる状況と比較しての違いともいえる。しかし、ヤングケアラー同様、今後どうなるかわからないため、一概にこれでよしと考えず、引き続き状況を見ていくことも大事。

（長尾委員）回答率57%は1回目（以前の調査）より多いようだ。資料4のp.16（問13 なやみごとや心配ごとがあるとき、相談できると思う人はだれですか。）の「相談できない」「相談したくない」は、数こそ少ないものの子育て会議やその他の会議で一番対象にしていくべきだと考える。昔の学校ではこういった層を「要保護」「重要」と考えて押さえていた。このアンケート報告書を見て、どのような対策を立てていくのかが今後必要な方向性なのではないかと思った。

（副会長）学校現場の意見として、一学期末は学校評価など他のアンケートもあるため子どもたちのアンケートに対するモチベーションが下がってしまいがち。次回実施する際は時期をずらすなどの配慮をしてもらえると有難い。

（会長）せっかくこのような報告書が出来たので委員各位読んでおいてほしい

<その他（意見交換）>

（堀口委員）議題にないことなので回答は急がないが2つほどお願いがある。1つ目、学習アシスタントが足りていないと聞いた。子どもたちの学習や日頃の学校生活のケアなどに影響が出るのではないかとと思うので、現状を伺いたい。また、この先充足させる見込みがあるのかなどの対応を聞きたい。2つ目、中学校に言葉の教室が出来ると聞いた。うちの子も進学が近いので関心がある。そういった計画が実際にあるのか、どのくらい進んでいるのか聞かせてほしい。

(事務局) 教育委員会の教育政策課が所管なので確認して後日回答したい。

(会 長) 次回の会議か書面かで回答をお待ちしている。

(事務局) 12月の定例会でこども誰でも通園制度の事業の設備及び運営に関する基準の条例の提案をし、設備の基準や職員配置に関しては制定された。その他に3月の議会で事業の運営に関する条例の提案が必要。市長が変わる関係で例年より議会が遅れており日程がギリギリである。事業を始めるにあたりどこの事業所が行うのかなどについて子ども・子育て会議の意見を聞くこととされている。事業実施は市内認定こども園や小規模な事業所をお願いしたいと思っている。国からの給付金の詳細等も遅れている。子ども・子育て会議で諮る時間的余裕がなく、書面開催ないし会長一任でよろしいだろうか。

(長尾委員) 国としてはその手順(会議せず)で良いのか。書面ないし会長一任という形で手順として良いのならばそれで良いと思う。

(事務局) 意見を聞いてということなのでこちらで中身の資料に関しては用意させていただく。

(会 長) 中身については資料提示があり承認は会長一任ということ。それで手順として問題がないのであれば良しとの意見だが皆さんはどうか。

<委員承認>

(事務局) 例年3月の子ども・子育て会議で新年度に行う子育て支援事業の主要な政策を説明しているが、今回市長が変わり3月10日から新体制となる。新年度の政策的な事業の予算は通常3月に決まるが今回はその後の議会で決定になると思う。今回お示しできないため次回の子ども・子育て会議で新年度の事業について報告させていただきたい。

(会 長) 次回の会議の予定は？

(事務局) 7月頃を予定している。

<閉会>

以上